（様式2(1)）

事業所名　グループホームりんどうの里

作成日：令和 3 年　12 月 20日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		食事を美味しく安全に摂取することができる。（認知症の進行及び嚥下機能低下に伴い誤嚥の危険性がある入居者が増加しております。）	1人ひとりの好みや残有機能を活かしながら必要な栄養素を摂取できる。また、馴染みの職員や入居者と共に美味しく安全に食事を摂取することができる。	食事への関心を高めるために器や盛り付け等の配慮を行い五感に刺激を与えて食欲の増進を図ります。また、個を尊重した食事量やペース、時間を配慮すると共に安全に摂取して頂けるよう姿勢や食事形態の評価を行う。	6ヶ月
2		居心地良く過ごせる共有空間で過ごしたい。（新型コロナウィルス感染症による外出減少に伴い共有空間や居室で過ごす時間が増えております）	リビングには採光を取り入れベランダにはプランターを栽培し生活の中で四季を感じることができる。また、1人ひとりの言動や表情を汲み取り安心して生活できる共有空間構築に努める。	日照時間等を考慮してリビングに適度な採光を取り入れられるよう配慮する。また、個別の趣味や入居者との相性を考慮してレクリエーション活動への参加を促す。	6ヶ月
3		居心地の良く過ごせる居室で過ごしたい。	ご家族との思い出や、これまでの生活で馴染みのある者に囲まれながら安心で心地よい時間を過ごすことができる。	ご本人やご家族と共に馴染みや思い出の物を飾らせて頂きます。また、移動の安全性を考慮して家具等を配置致します。共有空間で過ごしておられても体調変化を汲み取り居室で休んで頂けるよう配慮致します。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。